

SERIAL #

CERTIFIED BY

**BONDI**  
EFFECTS



\*9VDC センターマイナス (最大70mA)



BONDI EFFECTS

# Squish As Compressor

## OUTPUT

コンプレッションされたシグナルのゲインを、-20dBから+20dBの範囲で調節します。ドライシグナルには影響しません。

## RATIO

コンプレッションの比率を調節します。範囲は中心を4:1として、1:1(コンプレッション無し)から∞:1(リミッティング)です。

### TRANSFER CHARACTERISTICS

OVER THRESHOLD	2:1	4:1	20:1
3dB	-1.5dB	-2.3dB	-2.9dB
6dB	-3dB	-4.5dB	-5.7dB
12dB	-6dB	-9dB	-11.4dB
24dB	-12dB	-18dB	-22.8dB

## SENSITIVITY

スレッシュホールドを調整します。調整範囲は-6.3dBuから-46.3dBuで、ベースギターやシンセサイザー、出力の大きいペダルなど様々なレベルのシグナルに対応しています。スレッシュホールドを下回る音量のシグナルはコンプレッションされません。

## ATTACK

アタックタイムはプログラムによって、入力に基づいて心地よいサウンドになるように、自動的に変化します。

シンプルに言えば、Squishすればするほど、アタックは早くなります。

ゲインリダクション量とアタックタイムの目安は下記の通りです。

-3dB = 42mS | -6dB = 20mS | -10dB = 15mS | -20dB = 5mS

## RELEASE

リリースは8mS/dBの固定値で、常にアタックよりも遅くなります。目安は以下の通りです。

3dB = 24mS | 6dB = 48mS | 10dB = 80mS | 20dB = 160mS

## BLEND

ドライシグナルとウェットシグナルのバランスを調節します。下げ切りでドライシグナルのみ、上げ切りでウェットシグナルのみになります。GAINがセンターである時やコンプレッションが起きていない時、ドライシグナルはコンプレッションされたシグナルに対してユニティゲインになります。RATIOを上げてドライシグナルを加えることで、トーンに深みを出すパラレルコンプレッションが可能です。

## tone

900Hzを中心周波数とする、ティルトスタイルのEQです。ドライシグナルには影響しません。

## WHERE TO START

ピークだけをコンプレッションして、サウンドのおいしい所を邪魔しないようにSENSITIVITYを設定するとよいでしょう。RATIOを最大にしてSENSITIVITYを上げていき、強く演奏した時だけメーターが光るポジションにしてみてください。

SENSITIVITYをさらに上げると、より強くコンプレッションされます。

RATIOを12時より下げるとよりクリーンに、上げるとより深くコンプレッションします。OUTPUTでゲインリダクションを微調整できます。BLENDとTONEはお好みで。